

# 全国実業団ボウリング連盟 競技規定

## 第1章 総則

(目的)

第1条 この規定は、全国実業団ボウリング連盟（以下「連盟」という）規約第64条に基づき、必要な事項を定めることを目的とする。

## 第2章 競技会規定

(競技ルール)

第2条 競技に関する規定は、この規定に定める事項以外については、日本ボウリングルール（以下「NBR」という）の採用を原則とする。

2 競技会開催において、特に必要があると認められるときは、前項の規定に関わらずにルールを定めることができる。

(競技会の定義)

第3条 競技会は、チーム、個人またはその両方を併合し、あらかじめ計画した要項によって競技を行い、優勝チームまたは優勝者を決定する。

2 連盟主催、または公認の競技会には連盟会員のみが参加することができ、年度におけるチーム及び個人の公認に対して資格を有する。

3 会員以外の参加については、その都度規定する。

(競技会の参加資格)

第4条 競技会の参加者は、加盟支部を通じて連盟に登録され、その資格を証明する連盟会員証及びボール検定書の交付を受けた者で、競技会へ参加するときは会員証並びにボール検定書を常に携帯しなければならない。

(競技会の主催・公認)

第5条 競技会は、連盟主催のほか加盟支部又は各都道府県連合で主催することができ、連盟に申請して公認大会とすることができる。

2 競技会（リーグ戦を含む）の公認申請は、競技会が始まる14日前までに連盟に手続きを行わなければならない。

3 連盟が主催する競技会（以下「連盟主催競技会」という）以外の公認された競技会の記録は、連盟指定様式により、支部毎に年間の記録を一括し（都道府県連合大会の記録も含む）翌年の指定した日までに連盟に提出しなければならない。

(競技会の通知と募集)

第6条 競技会の主催者は、次の事項を規定した大会募集要項を作成し、申し込み締め切り日の30日前までに公示し、公示の後、速やかに加盟支部へ通知することを原則とする。

- (1) 競技会の種類と名称
- (2) 開催日時及び開催場所
- (3) 競技種目、ゲーム数、競技方法及びチーム競技にあつてはその競技人数
- (4) 競技予定時刻
- (5) 参加資格
- (6) 競技の実施上特に定める事項
- (7) 参加費
- (8) 褒賞
- (9) 参加申し込み、参加料の納入方法及び締め切りの日時
- (10) その他の必要と認められる事項

2 申し込みの締め切りは、大会開催日の30日以内の日時で設定することを原則とする。

(参加費)

第 7 条 参加費は、競技会費（ゲーム料）と大会経費を合算した額で設定し、競技会の諸経費はこの参加費で賄うものとする。

(エントリー後の不参加に対する取扱い)

第 8 条 競技会に対する参加申込が受け付けられ、大会パンフレットに記載された選手またはチームが不参加の場合は、参加費の半額を連盟に納入しなければならない。ただし、次のいずれかに該当するときは、半額の納入を免除する。

- (1) チーム内の選手に変更があったとき
- (2) メイクチームの選手変更によりチーム名が変わるとき
- (3) 個人戦において不参加となった者に同一支部から代替者が出場するとき
- (4) チーム戦において不参加となったチームに同一支部から代替チームが出場するとき

(競技順位の決定)

第 9 条 競技における順位は、ハンディキャップを含む得点の総合計又は勝ち抜き戦の勝者をもって決定する。ただし、競技会において特に他の決定方法を採用する場合はこの限りでない。

2 同点の場合における順位の決定は、個人戦並びにチーム戦とも次のとおりとする。

- (1) 最高シリーズと最低シリーズとの差の最も少ないものを上位とする。
- (2) 前項の規定により同点の場合は、各ゲームの最高得点と最低得点との差の最も少ないものを上位とする。
- (3) 前項の規定により同点の場合は、最終シリーズの得点の高いものを上位とする。
- (4) 前項の規定により同点の場合は、最終シリーズの各ゲームの最高得点と最低得点との差の最も少ないものを上位とする。

(ハンディキャップ)

第 10 条 競技会において、次のいずれかに該当するときは、ハンディキャップを与えるものとする。

- (1) チーム戦において、50歳以上の男子または女子を含んでチームが編成されたとき
- (2) 50歳以上の男子または女子が混合する個人戦を行うとき

2 ハンディキャップの点数については、1ゲームにつき以下の表のとおり設定し、これを「A B B Fハンディ」と称する。

年齢	49歳以下	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上
性別						
男子	0点	5点	10点	15点	25点	40点
女子	15点	20点	25点	30点	40点	55点

- 3 前項の年齢区分は、大会開催日が属する年の12月31日までに誕生日を向かえるものに適用する。これを「年度満年齢」と称する。
- 4 競技会においてハンディキャップを採用するにあたっては、競技会開始前までに明確に定めておかななければならない。
- 5 競技会におけるハイゲーム及びハイシリーズは、ハンディキャップを含むものとする。

(チーム主将)

第 11 条 チーム主将はチームを代表し、チーム員の競技会参加、投球順序の決定及びその他諸規定の履行等について一切の責任を負うものとする。

(参加者の変更)

第 12 条 競技会当日に参加申込書に記載したチーム員に不参加者が生じて交代者を出場させようとするときは、チーム主将が書面により主催者の競技委員会に届け出て承認を受けるものとする。尚、欠員を補充出来ない場合でも、他の選手は競技に参加することができるが、その場合、欠場した選手のブラインド料は返還しないものとする。

(競技者の遅刻)

第 13 条 競技者が競技開始の合図のあとに投球ができない状態の場合は、そのゲームは遅刻とする。ただし、次のゲームより投球することができる。

(ゲーム開始後における競技者の交代)

第14条 チーム戦において競技者が交代する場合、シリーズごととする。

(投球の順番)

第15条 チームにおける投球順番は、競技開始より終了まで変更することはできない。  
怪我・疾病による交代があった場合は、その該当の順番に入るものとする。  
ただし、怪我・疾病以外の理由による交代の場合は、あらかじめ交代選手を含めた投球順番を決めておき、各シリーズの投球者のうち、投球順番が若い選手から順に投球するものとする。

### 第3章 褒賞規定

(連盟褒賞)

第16条 連盟主催競技会において、次に掲げる優秀な成績に対して表彰をする。

種目 種別	個人	2人チーム	3人チーム	4人チーム	5人チーム
ハイゲーム	290点以上	550点以上	750点以上	1000点以上	1250点以上
ハイシリーズ	750点以上	1400点以上	2000点以上	2600点以上	3200点以上
スプリットメイド	<7-10> <4-6-7-10>				

- 2 前項の点数は、ハンディキャップを含んだ点数とする。
- 3 同一年度中に同一チーム編成で同種類の賞は、1回限りの表彰とする。

(新記録賞)

第17条 連盟主催競技会において、連盟記録を更新したチーム及び個人は、年度ごとにこれを表彰する。なお、同スコアの場合はタイ記録とし、先に保持している者を記録保持者とする。

(連盟年間表彰)

第18条 連盟主催競技会で規定ゲーム数を満たす者の中から、年間表彰として次に掲げる事項について男女各1名を表彰する。

- (1) 年間ハイゲーム賞
- (2) 年間ハイシリーズ賞
- (3) 年間ハイアベレージ賞

- 2 前項に掲げる規定ゲーム数は、男子は57ゲーム以上、女子は48ゲーム以上とし、点数については、ABBFハンディを含む点数とする。

(パーフェクト及び800シリーズに対する表彰)

第19条 連盟主催競技会及び連盟公認競技会でのパーフェクトゲーム又は800シリーズの達成者には、翌年度の支部対抗選手権大会またはブロック選手権大会の開会式で表彰する。

(手続及び期間)

第20条 第16条及び第19条に規定する褒賞が発生したときは、競技会終了後の7日以内を原則に、褒賞該当者を連盟に報告しなければならない。

(褒賞の適用)

第21条 褒賞を受ける資格のあるゲームは、連盟に申請、公認された競技会のみとし、連盟の諸規定に従い、厳正に実施されたものでなければならない。

- 2 年度は、1月1日より12月31日までに行われたゲームとする。
- 3 3ゲームシリーズ賞の決定は、3ゲーム以上をもって競技する競技会においては、3ゲームを単位として資格を有するものとする。
- 4 競技の実施について、疑わしき場合は連盟が審査することができる。

(褒賞の費用負担)

第22条 連盟主催競技会及び連盟公認競技会におけるパーフェクト賞及び800シリーズ賞の費用は、連盟が負担する。

(褒賞の授与方法)

- 第23条 競技における褒賞は、スポーツ的名誉を表彰することを目的とするため、賞状、トロフィー、カップ、メダル、ワッペンなどを用いることを原則とし、副賞のある場合も品位のあるものとする。
- 2 競技会において褒賞をする場合には、その規定を連盟に提出して承認を受けるとともにその実施後には、受賞者の氏名を報告しなければならない。
  - 3 連盟は必要に応じ、受賞の適否を検査する。
  - 4 スポーツ奨励のため、競技会に賞の寄贈を受ける場合には、本規定の適用外とすることができる。

(アベレージ特別褒賞)

- 第24条 連盟主催競技会<別記(第41条関係)>において、優秀な成績を収めた選手に対して、連盟は名声と名誉の称号に値する特別褒賞(ワッペン)を贈呈する。
- 2 前項に規定する対象は、予選、決勝を問わず、男子54ゲーム以上 女子45ゲーム以上の投球が記録された者とする。
  - 3 195点以上のアベレージ(ABBFハンディを含む。以下同様)を記録した者に「黒ワッペン」を贈呈する。
  - 4 「黒ワッペン」保持者で210点以上のアベレージを記録した者に「紫ワッペン」を贈呈する。
  - 5 「紫ワッペン」保持者で220点以上のアベレージを記録した者に「赤ワッペン」を贈呈する。

## 第4章 連盟主催大会の諸規定

(共通規定)

- 第25条 連盟主催競技会のうち、選手権大会に共通する規定として、第2章に定めるものの他に次のとおりとする。

(参加資格)

- 第26条 出場資格者は、当年度の連盟登録選手に限る。

(交代選手)

- 第27条 種目別の交代選手は、次のとおり定める。ただし、個人戦における選手の交代は認めない。

- (1) 2人チーム戦1人
- (2) 3人チーム戦1人
- (3) 4人チーム戦1人
- (4) 5人チーム戦2人

(ハンディキャップ)

- 第28条 ハンディキャップは、ABBFハンディを採用する。

(練習投球)

- 第29条 競技前の練習投球時間は、ボックス内の最大人数に1分30秒を乗じて求めた時間を原則とする。

(最優秀選手賞)

- 第30条 各大会における最優秀選手賞は、優勝チームの最高得点者(ハンディキャップを含む)に与える。

(同順位、同スコアにおける裁定)

- 第31条 同順位、同スコアにおける裁定は第9条によるものの他に次のとおりとする。
- (1) 連盟主催競技会においては、ハイゲーム賞及びハイシリーズ賞が同点の場合は、該当者全員を表彰する。
  - (2) 同順位、同スコアにおける裁定方法は、必要に応じて大会要項にあらかじめ規定することができる。

(抗議期間の設定)

第32条 競技会の成績に対する抗議について、次のとおりとする。

- (1) 主催者は成績発表後に1分間の抗議申出期間を設け、競技者はその期間内に異議を申し出なければならない。
- (2) その期間に申し出がなかったときは、発表した結果は認められたものとして取り扱うものとする。

(記録用紙不備に対する措置)

第33条 競技会において記録用紙への転記間違い、計算の誤り、確認署名漏れを発見した場合は、記録委員会が直ちに競技者に通告し、競技者に対して記録用紙(控用)の訂正等を行わせるものとする。

(ブラインド)

第34条 選手がゲーム途中でブラインドしたゲームの得点は0点とし、ゲーム数に加算しないものとする。

(欠ピンの裁定)

第35条 投球者が欠ピンの状態に気がつかずに投球がされた場合、同一レーンの次の投球者が投球するまでの間に抗議がなければ、その投球は有効とする。

(ボールの誤使用による裁定)

第36条 選手が本人のボール検定書に記載されているボール以外を誤って投球した場合、ピンを再配置して再投球するものとする。

(競技中の飲酒に対する制裁)

第37条 競技中及びシフト間に飲酒をした者は、事実が判明した時点で失格とし、該当大会の競技記録は全て抹消する。

(連盟ワッペンの着用)

第38条 競技者は、ユニフォームの左胸に連盟ワッペンをつけなければならない。なお、刺繍またはプリントにより付着加工することを認める。

(ユニフォーム)

第39条 競技者は、法人指定のユニフォームを着用し、チーム戦においては全員が同一デザインのユニフォームの着用を原則とする。ただし、同一デザインで男女の違いによる色使いの相違のものは、同一ユニフォームとみなす。

- 2 ユニフォームの背中には、法人名(法人指定のロゴマークを含む)を明確に表示しなければならない。

(ファールについて)

第40条 自動式のファール判定器の誤作動によりファールとなった場合、その場を離脱しないで、投球したままの位置で競技委員にアピールすること。

- 2 ファールでないことが認められた場合は、投球された結果を有効とする。ただし、機械によるファール判定で自動的にピンがリセットされ、残りピンが不明確の場合は、再投球とする。

(連盟主催大会における規定)

第41条 連盟主催競技会を毎回同一の方法によって行うため、共通規定の他に、大会ごとに別記により規定する。

## 第5章 付則

(改廃)

第42条 この規定は、総会において出席代議員の3分の2以上の賛成で改廃することができる。

(実施期日)

第43条 この規定は、昭和49年5月12日より実施する。

- 2 第37条の規定は、周知期間を考慮して平成22年1月1日より実施する。
- |       |        |      |   |
|-------|--------|------|---|
| 昭和56年 | 3月22日  | 一部改正 |   |
| 昭和62年 | 3月8日   | 一部改正 |   |
| 平成4年  | 3月22日  | 一部改正 |   |
| 平成10年 | 3月7日   | 一部改正 |   |
| 平成11年 | 7月4日   | 一部改正 |   |
| 平成16年 | 10月10日 | 一部改正 |   |
| 平成18年 | 3月11日  | 一部改正 |   |
| 平成19年 | 3月10日  | 一部改正 |   |
| 平成19年 | 10月28日 | 一部改正 |   |
| 平成21年 | 3月14日  | 一部改正 |   |
| 平成21年 | 10月24日 | 全部改正 |   |
| 平成22年 | 10月16日 | 一部改正 | (第16条修正・第40条追加・第41条～第43条修正)             |
|       |        | 一部改正 | (第41条3～ブロック編成変更)                        |
| 平成23年 | 7月2日   | 一部改正 | (第16条修正・第20条2項削除)                       |
| 平成25年 | 3月9日   | 一部改正 | (第10条3～文言の修正)                           |
|       |        | 一部改正 | (第13条～文言の修正)                            |
| 平成27年 | 3月7日   | 一部改正 | (第12条～文言の追加)                            |
|       |        | 一部改正 | (第14条&第15条～条文入替・文言の修正)                  |
|       |        | 一部改正 | (第41条～大会順序変更・文言の修正)                     |
| 2019年 | 3月3日   | 一部改正 | (第8条(3)個人戦代替者条件変更・文書変更)                 |
|       |        | 一部改正 | (第8条(4)代替チーム条件変更・文書変更)                  |
|       |        | 一部改正 | (第29条 練習時間の変更・文書変更)                     |
|       |        | 一部改正 | (別記41条 個人選手権大会の決勝進出者数と表彰者数の変更)          |
| 2022年 | 2月25日  | 一部改正 | (第24条2～5 対象ゲーム数変更、紫ワッペン、赤ワッペンに関する規定を追加) |

## 別記（第41条関係）

### 1 『寺尾杯争奪 第〇〇回（平成〇〇年）全国実業団支部対抗選手権大会』

- 1) 競技種目 5人チーム戦（支部単位・男女混合可）
- 2) 出場資格 イ) 本年度連盟登録法人会員に限る。  
ロ) 前年度優勝支部1チームを招待（参加費・宿泊費（2泊）>する）。
- 3) 競技内容 予選は第1回戦から第3回戦を1人3ゲームずつ投球し、チーム合計45ゲームのトータルピン上位20チームを決勝戦へ選出する。決勝戦は、さらに1人3ゲームずつ投球し、予選より通算して1人12ゲーム、チーム合計60ゲームのトータルピンにより順位を決定する。
- 4) 競技規定 NBRを採用する。（連盟競技規定で定めているものについては、それを優先する）  
また、ハンディキャップは連盟競技規定第28条を採用する。
- 5) 表彰 優勝～第8位、ハイゲーム賞及びハイシリーズ賞（予選のみ対象）  
最優秀選手賞、決勝出場賞、参加賞
- 6) その他 ・本規定の決勝出場チーム数を変更する場合は、連盟と主管支部で協議し、最終決定することができる。  
・入賞者に全国実業団選抜選手権大会への出場権を与える。

### 2 『第〇〇回（平成〇〇年）全国実業団〇〇〇ブロック選手権大会』

- 1) 競技種目 3人チーム戦（団体単位・男女混合可）
- 2) 出場資格 イ) 本年度連盟登録法人会員に限る。  
ロ) 2法人1チームでのメイクチームを認める。
- 3) 競技内容 予選は第1回戦から第3回戦を1人3ゲームずつ投球し、チーム合計27ゲームのトータルピン上位チームより、参加チーム数に応じて決勝進出チームを選出する。

#### 【決勝戦進出チーム数】

参加チーム数	決勝進出チーム数
29チーム以下	12チーム
30チーム以上39チーム以下	14チーム
40チーム以上49チーム以下	16チーム
50チーム以上59チーム以下	18チーム
60チーム以上	20チーム

決勝戦は、さらに1人3ゲームずつ投球し、予選より通算して1人12ゲーム、チーム合計36ゲームのトータルピンにより順位を決定する。

- 4) 競技規定 NBRを採用する。（連盟競技規定で定めているものについては、それを優先する）  
また、ハンディキャップは連盟競技規定第28条を採用する。
- 5) 表彰 優勝～第6位（50チーム以上参加のときは第8位まで表彰）  
ハイゲーム賞及びハイシリーズ賞（予選のみ対象）  
最優秀選手賞、決勝出場賞、参加賞
- 6) その他 ・本規定の決勝出場チーム数を変更する場合は、連盟と主管支部で協議し、最終決定することができる。  
・入賞者に全国実業団選抜選手権大会への出場権を与える。  
・優勝チームを次年度のブロック選手権大会に招待（参加費）する。ただし、優勝メンバーの2名以上の参加申込をもって招待の対象とする。メイクチームは対象外とし、繰り上げによる招待は行わない。

・各ブロックとも、4月または5月の開催を原則とする。ブロックの区分については、その時の実情により理事会で検討し総会に諮り変更することができる。

7) ブロック ブロックの区分は次のとおりとする。

- A 北海道 ～ 北海道
- B 東北 ～ 青森・秋田・岩手・宮城・山形・福島
- C 北関東 ～ 栃木・群馬・埼玉
- D 東関東 ～ 茨城・千葉
- E 南関東 ～ 東京・神奈川
- F 北信越 ～ 長野・富山・福井・石川・新潟
- G 東海 ～ 愛知・岐阜・三重・静岡・山梨
- H 関西 ～ 大阪・奈良・滋賀・和歌山・京都・兵庫
- I 九州・中国 ～ 福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・広島・鳥取・岡山  
島根・山口・沖縄
- J 四国 ～ 香川・徳島・愛媛・高知

### 3 『第〇〇回（平成〇〇年）東・中・西日本選手権大会』

- 1) 競技種目 2人チーム戦（団体単位・男女混合も可）
- 2) 出場資格 イ) 本年度連盟登録法人会員に限る。  
ロ) 前年度優勝チームを招待＜参加費・宿泊費（2泊）＞する。ただし、優勝メンバーの参加申込をもって招待の対象とする。
- 3) 競技内容 予選は第1回戦から第3回戦を1人3ゲームずつ投球し、チーム合計18ゲームのトータルピン上位チームより、参加チーム数に応じて決勝進出チームを選出する。

#### 【決勝戦進出チーム数】

参加チーム数	決勝進出チーム数
60チーム以下	16チーム
61チーム以上99チーム以下	18チーム
100チーム以上	20チーム

決勝戦は、さらに1人3ゲームずつ投球し、予選より通算して1人12ゲーム、チーム合計24ゲームのトータルピンにより順位を決定する。

- 4) 競技規定 NBRを採用する。（連盟競技規定で定めているものについては、それを優先する）  
また、ハンディキャップは連盟競技規定第28条を採用する。
- 5) 表彰 優勝～第6位（参加チームが61チーム以上のときは第8位まで表彰）  
ハイゲーム賞及びハイシリーズ賞（予選のみ対象）  
最優秀選手賞、決勝出場賞、参加賞
- 6) その他 ・本規定の決勝戦チーム数を変更する場合は、連盟と主管支部で協議し、最終決定することができる。  
・入賞者に全国実業団選抜選手権大会への出場権を与える。
- 7) 地域区分 東・中・西日本の区分は次のとおりとする。また、区分については、その時の実情により理事会で検討し総会に諮り変更することができる。
  - A 東日本 ～ 北海道・青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・茨城・栃木・群馬・埼玉  
千葉・東京・神奈川
  - B 中日本 ～ 新潟・富山・石川・長野・福井・山梨・静岡・愛知・三重・岐阜
  - C 西日本 ～ 京都・大阪・奈良・兵庫・滋賀・和歌山・岡山・広島・山口・鳥取・島根  
香川・徳島・愛媛・高知・福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島  
沖縄



#### 4 『第〇〇回（平成〇〇年）全国実業団3人チーム選手権大会』

- 1) 競技種目 3人チーム戦（団体単位・男女混合可）
- 2) 出場資格 イ）本年度連盟登録法人会員に限る。  
ロ）前年度優勝チームを招待＜参加費・宿泊費（2泊）＞する。ただし、優勝メンバーの2名以上の参加申込をもって招待の対象とする。
- 3) 競技内容 予選は第1回戦から第3回戦を1人3ゲームずつ投球し、チーム合計27ゲームのトータルピン上位20チームを決勝戦へ選出する。決勝戦は、さらに1人3ゲームずつ投球し、予選より通算して1人12ゲーム、チーム合計36ゲームのトータルピンにより順位を決定する。
- 4) 競技規定 NBRを採用する。（連盟競技規定で定めているものについては、それを優先する）また、ハンディキャップは連盟競技規定第28条を採用する。
- 5) 表彰 優勝～第8位 ハイゲーム賞及びハイシリーズ賞（予選のみ対象）  
最優秀選手賞、決勝出場賞、参加賞
- 6) その他 ・本規定の決勝出場チーム数を変更する場合は連盟と主管支部で協議し、最終決定することができる。  
・入賞者に全国実業団選抜選手権大会への出場権を与える。

#### 5 『第〇〇回（平成〇〇年）全国実業団北海道選手権大会』

- 1) 競技種目 2人チーム戦（団体単位・男女混合可）
- 2) 出場資格 本年度連盟登録法人会員に限る。
- 3) 競技内容 予選は第1回戦から第3回戦を1人3ゲームずつ投球し、チーム合計18ゲームのトータルピン上位チームより、参加チーム数に応じて決勝進出チームを選出する。  
**【決勝戦進出チーム数】**

参加チーム数	決勝進出チーム数
60チーム以下	16チーム
61チーム以上99チーム以下	18チーム
100チーム以上	20チーム

決勝戦は、さらに1人3ゲームずつ投球し、予選より通算して1人12ゲーム、チーム合計24ゲームのトータルピンにより順位を決定する。
- 4) 競技規定 NBRを採用する。（連盟競技規定で定めているものについては、それを優先する）また、ハンディキャップは連盟競技規定第28条を採用する。
- 5) 表彰 優勝～第6位（参加チームが61チーム以上のときは第8位まで表彰）  
ハイゲーム賞及びハイシリーズ賞（予選のみ対象）  
最優秀選手賞、決勝出場賞、参加賞
- 6) その他 ・本規定の決勝出場チーム数を変更する場合は連盟と主管支部で協議し、最終決定することができる。  
・入賞者に全国実業団選抜選手権大会への出場権を与える。

#### 6 『第〇〇回（平成〇〇年）全国実業団四国選手権大会』

- 1) 競技種目 2人チーム戦（団体単位・男女混合可）
- 2) 出場資格 本年度連盟登録法人会員に限る。
- 3) 競技内容 予選は第1回戦から第3回戦を1人3ゲームずつ投球し、チーム合計18ゲームのトータルピン上位チームより、参加チーム数に応じて決勝進出チームを選出する。

【決勝戦進出チーム数】

参加チーム数	決勝進出チーム数
60チーム以下	16チーム
61チーム以上99チーム以下	18チーム
100チーム以上	20チーム

決勝戦は、さらに1人3ゲームずつ投球し、予選より通算して1人12ゲーム、チーム合計24ゲームのトータルピンにより順位を決定する。

- 4) 競技規定 NBRを採用する。(連盟競技規定で定めているものについては、それを優先する)  
また、ハンディキャップは連盟競技規定第28条を採用する。
- 5) 表彰 優勝～第6位(参加チームが61チーム以上のときは第8位まで表彰)  
ハイゲーム賞及びハイシリーズ賞(予選のみ対象)  
最優秀選手賞、決勝出場賞、参加賞
- 6) その他 ・本規定の決勝出場チーム数を変更する場合は連盟と主管支部で協議し、最終決定することができる。  
・入賞者に全国実業団選抜選手権大会への出場権を与える。

7 『第〇〇回(平成〇〇年)全国実業団個人選手権大会』

- 1) 競技種目 部門別個人戦  
イ) 一般男子の部(年度満49才以下)  
ロ) 男子シニアの部(年度満50才以上)  
ハ) 女子の部
- 2) 出場資格 イ) 本年度連盟登録法人会員に限る。  
ロ) 前年度の各部門優勝者を招待<参加費・宿泊費(2泊)>する。
- 3) 競技内容及び表彰

各部門とも、予選は第1回戦から第3回戦を1人3ゲーム投球し、合計9ゲームのトータルピン上位から、下表に応じて決勝進出者を選出する。決勝戦は、さらに3ゲームを投球し、予選から通算して12ゲームのトータルピンにより順位を決定する。

【決勝戦進出者数・表彰数】

エントリー数	59名以下	60～99名	100～149名	150名以上
決勝戦進出者数	12名	16名	18名	20名
表彰	優勝～6位	優勝～6位	優勝～8位	優勝～8位

各部門 ハイゲーム賞及びハイシリーズ賞(予選のみ対象)  
最優秀選手賞、決勝出場賞、参加賞

- 4) 競技規定 NBRを採用する。(連盟競技規定で定めているものについては、それを優先する)  
また、ハンディキャップは連盟競技規定第28条を採用する。
- 5) その他 ・本規定の決勝出場者数を変更する場合は、連盟と主管支部で協議し、最終決定することができる。  
・入賞者に全国実業団選抜選手権大会への出場権を与える。

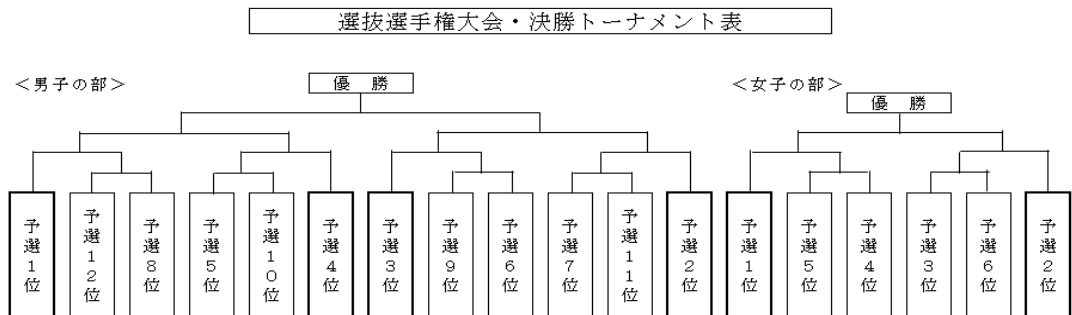
8 『第〇〇回(平成〇〇年)全国実業団選手権大会』

- 1) 競技種目 4人チーム戦(団体単位・男女混合可)

- 2) 出場資格 イ) 本年度連盟登録法人会員に限る。  
ロ) 前年度優勝チームを招待<参加費・宿泊費(2泊)>する。ただし、優勝メンバーの3名以上の参加申込をもって招待の対象とする。
- 3) 競技内容 予選は第1回戦～第3回戦を1人3ゲームずつ投球し、チーム合計36ゲームのトータルピン上位20チームを決勝戦へ選出する。決勝戦は、さらに1人3ゲームずつ投球し、予選より通算して1人12ゲーム、チーム合計48ゲームのトータルピンにより順位を決定する。
- 4) 競技規定 NBRを採用する。(連盟競技規定で定めているものについては、それを優先する) また、ハンディキャップは連盟競技規定第28条を採用する。
- 5) 表彰 優勝～第8位 ハイゲーム賞及びハイシリーズ賞(予選のみ対象)  
最優秀選手賞、決勝出場賞、参加賞
- 6) その他 ・本規定の決勝出場チーム数を変更する場合は連盟と主管支部で協議し、最終決定することができる。  
・入賞者に全国実業団選抜選手権大会への出場権を与える。

9 『第〇〇回(平成〇〇年)全国実業団選抜選手権大会』

- 1) 競技種目 個人戦(男女別)
- 2) 出場資格 イ) 歴代の優勝者  
ロ) 開催年度における連盟主催大会の入賞者  
ハ) 開催年度における連盟主催大会に、男子は4大会以上出場し36ゲーム以上、女子は3大会以上出場し27ゲーム以上を投球した者のうち、アベレージが190以上の者(ハンディキャップを含む)  
ニ) 連盟競技規定第24条に規定する特別褒章(ワッペン)受賞者で、開催年度の連盟主催大会に男子は4大会以上、女子は3大会以上に出場した者  
ホ) 前年度優勝者を招待<参加費・宿泊費(2泊)>する。
- 3) 競技内容 予選は第1回戦～第4回戦を1人3ゲーム投球し、計12ゲームトータルピンの上位、男子12名(4名を1回戦シード)、女子6名(2名を1回戦シード)を決勝トーナメントに選出する。  
決勝トーナメントは、対戦ごとに1人2ゲームを投球し、2ゲームの合計得点の高いものが勝者となる勝ち抜き戦とする。  
3位及び4位の決定は、決定戦を行う。  
男子5位～8位の順位は、決勝トーナメント2回戦目の合計得点の高いものを上位とする。



- 4) 競技規定 NBRを採用する。(連盟競技規定で定めているものについては、それを優先する) また、ハンディキャップは連盟競技規定第28条を採用する。
- 5) 表彰 優勝～第8位(男子) 優勝～第4位(女子)  
ハイゲーム賞及びハイシリーズ賞(予選のみ対象) <男女別>

決勝出場賞、参加賞

優勝者に、チャンピオンユニフォームを贈呈する。なお、第39条にかかわらず、全ての連盟主催大会においての着用を認める。